

# なかがわ 議会だより

No 155

2026.2

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



1月7日(水) 中川消防団による獅子舞 記念撮影

## 主な 内容

- 議長年頭のあいさつ
- 第4回定例会【一般質問4氏】
- 上川管内町村議会議員研修会に参加
- 農業者と経済常任委員会の懇談会を実施
- 公共施設建設調査特別委員会の開催状況
- 議会日誌、編集後記

# 年頭のご挨拶

中川町議会議長 佐藤 輝雄



新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、健やかに新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。平素より町議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、人口減少や地域経済の停滞、災害への備えなど、中川町が直面する課題は多岐にわたりました。その中で、町民の皆さまの声を丁寧に伺い、町政に反映させることが議会の責務であると改めて感じております。

現在、議会では「議会改革特別委員会」において議員のなり手不足という重要な課題を解消するため、議員報酬の見直しを中心に議論を進めております。今後は皆さまの声を、町民アン

ケートや意見交換等にてお聞かせいただき、若者や女性、会社員など多様な人材が議員として活躍できるよう議論を重ねてまいります。

また、「公共施設建設調査特別委員会」では、特別養護老人ホーム「一心苑」と温泉宿泊施設「ホンピラアクアリズイング」の改築に關し、町と協議を重ねております。これらの施設は、町民の暮らしを支えるだけでなく、長年にわたり親しまれ、愛着を持たれてきた大切な存在です。町民の皆さまが誇りを持ち、安心して利用できる施設となるよう、議会としても真摯に取り組んでまいります。

本年も「開かれた議会」「町民に寄り添う議会」を基本姿勢とし、透明性の高い議会運営に努めてまいります。

ます。特に、子育て支援や高齢者福祉、地域産業の振興など、町の未来を支える施策について、議論を深めてまいります。また、災害に強いまちづくりや環境保全にも力を注ぎ、安心して暮らせる中川町の実現を目指します。

町民の皆さまにとって、議会がより身近で信頼できる存在となるよう、議員一同、誠心誠意努めてまいります。

本年が皆さまにとって希望に満ちた一年となりますよう、心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



後列 植村美記夫、小池 豊、今野 大樹、若山 真一  
前列 佐々木英和、菊地 広幸、佐藤 輝雄、平木 総司

【事務局】 局長 梶田 健一



# ◆第4回定例会◆

令和7年第4回定例会は12月11日招集され、会期を2日間とし、4議員の一般質問、同意1件、報告1件、条例制定・改正4件、予算補正5件、会議規則3件を議決し、閉会しました。



第4回定例会の様子

## こども誰でも通園制度が

### 4月から始まります

町幼児センターに満3歳未満の子どもを入園させるには、これまで保護者の就労等の要件が必要でしたが、令和8年4月から、その要件を問わず、定員の範囲内で0歳6か月から満3歳未満の子どもを、月に10時間以内（利用は1時間単位）まで預けることが出来るようになります。

保護者の通院や体調不良などの際、安心して子どもを預けられる制度です。



## 主な議案の審議結果

### 【同意】

▼中川町固定資産評価審査委員会委員の選任

立松 潤 也 氏

【原案可決】

### 【条例の制定】

▼中川町乳児等通園支援事業に関する条例の制定（こども誰でも通園制度）

【原案可決】

### 【条例の改正】

▼議員報酬に関する条例の

### 改正

【原案可決】

▼特別職職員の給与に関する条例の改正 【原案可決】

議員報酬及び特別職の給与とも、令和7年人事院勧告を基に、令和7年度分から期末手当を0・05ヵ月分増額しました。

▼職員の給与に関する条例の改正 【原案可決】

令和7年人事院勧告を基に、若年層を中心にベースアップ、期末勤勉手当0・05ヵ月分増額、通勤手当の

### 【予算】

▼令和7年度中川町一般会計予算補正 【原案可決】

■主な予算の《追加》

- ・豊かな森づくり推進事業補助 170万円（補助対象となる造林地が確定したため）

- ・公営住宅修繕料 150万円（労務費、資材費の高騰により修繕費が不足するため）

- ・一般職職員手当 758万円（期末勤勉手当の増額と定年退職延長に伴う



新植された町有林

拡大などを行いました。

退職手当負担金率の引上げのため)

- ・財政調整基金積立金 4910万円(前年度繰越金の約1/2を積立します)

その他にも、障がい者福祉費の扶助費、乳幼児等医療費助成、公共施設の修繕費の追加などを行っています。

また、各事業の実績や支出見込みに応じて予算の減額も行い、追加と減額を合わせて7752万円を増額し、予算総額を43億1681万円としました。

## 質疑応答

問町の農業関係の補助事業の周知はどのような方法で行われているのか。

答春に補助制度の周知をJAを通じて行っているが、中山間制度や多面的制度などの説明会の際にも周知を重ねていきたい。



排雪作業のようす

問町の排雪作業で使用するための、デジタル無線機の購入費用(40万円)には、誘導員の分も含まれているのか。

答小型と大型ロータリー除雪車、ダンプトラックの3台に設置する予定。誘導員は民間に委託しており、誘導員間は無線で連携している。

その他の会計についても、次の内容で原案可決されました。

- ・国民健康保険特別会計 667万円の増額(高額療養費の追加ほか)
- ・介護保険特別会計 13

84万円の増額(施設介護サービス費の追加ほか)

- ・簡易水道事業会計 237万円の増額(漏水修繕費の追加ほか)
- ・農業集落排水事業会計 40万円の増額(職員給料・手当の追加ほか)

### 【継続調査】

#### ▼閉会中の継続調査の申し出(総務常任委員会)

##### ■事件

- 1 福祉施設のあり方について
- 2 少子化に対応した学校教育について
- 3 総務常任委員会にかかわる施策について

##### ■期限

令和8年第1回定例会まで。

### 【継続調査決定】

#### ▼閉会中の継続調査の申し出(経済常任委員会)

##### ■事件

- 1 地場資源の活用と地場産業の振興
- 2 働き手不足の解消策について

3 経済常任委員会にかかわる施策について

##### ■期限

令和8年第1回定例会まで

### 【継続調査決定】

#### ▼閉会中の継続調査の申し出(議会運営委員会)

##### ■事件

- 1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

##### ■期限

令和8年第1回定例会まで。

### 【継続調査決定】

一般質問については、次のページより掲載しています。



定例会のようす

## 議会モニターを募集

町議会を円滑で民主的に運営するため、議会モニターを募集しています。議会を傍聴して、アンケートなどのご協力をお願いします。提出されたご意見は、議員で共有し、議会運営の改善に役立てられます。

議会や行政、まちづくりに関心のある方のご応募をお待ちしています。

### ■応募条件(若干名)

- ・満18歳以上の町民で、公務員、各種行政委員でない方

・議会や行政、まちづくりに関心がある方

### ■任期

- ・2年程度

### ■職務の内容

- ・年4回開催の定例会を傍聴してアンケートに回答
- ・「議会だより」を読んで、アンケートに回答

詳しくは議会事務局 ☎712944までお問い合わせください。



# 問 災害避難訓練は 今後も定期的に実施するのか

答 町内会・自治会と共同で行い、  
防災意識を高めたい



平木議員

今年も全国各地で線状降水帯が発生し、大雨被害が起きました。北海道でも今年初めて線状降水帯が発生し被害がありました。本町でも一昨年8月に大雨・地震があり、今年も近隣町村で大雨による被害もあつたようです。

最近ではこのような自然災害がいつ起こってもおかしくないような気象状況に変わってきています。本町では10月26日に5区町内会において災害避難訓練を実施したようですが、訓練の総括、問題点などはできていますでしょうか。今後、定期的に避難訓練を行っていく計画はあるのでしょうか。

石垣町長

5区町内会で実施された災害避難訓練には、26名と

多くのご参加をいただき実施できました。

今回の避難訓練は、大雨により天塩川が増水し、堤防決壊による浸水の恐れがある設定で実施しました。5区にお住いの皆さんが、避難指示により、指定避難所である温泉施設まで徒歩で向かうと何分かかるのかどの程度、余裕をもって行動するべきか、5区会館に集まり、地域の皆さんと一緒に避難することは可能なのかを試す目的で実施したところです。

災害が発生した際に、住民一人ひとりが自分の安全を守るために自発的に行う「自助」、地域が連携して行う「共助」、行政が行う「公助」による適切な役割分担と対応について、その効果が十分に発揮されるように常に確認し、見直し作業



平木総司 議員

をすすめています。

特に、行政が行う「公助」のあり方については、災害が発生した際に避難できる場所の確保と設備の充実、更には避難時から3日間の水、食料、毛布、暖房器具など、被災時の日常生活用品の整備に努めています。



寿の家で行われた防災講話

本年度以降においても、町内会、自治会と事前に意見交換を行い、住民と行政の共同による参加しやすい避難訓練を実施することで、防災意識の高揚や地域の災害危険個所の把握など、自主防災を含めた体制の確立を推進しますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平木議員

災害時の酪農家に対して断水対策として給水設備等の支援も必要ではないでしょうか。

石垣町長

水道は町民の皆さんにとって、生活や経済活動に必要不可欠なライフライン設備ですが、大雨等により原水が濁り浄水処理できなくなった場合や水道施設の老朽化等により漏水が発生した場合などを主な原因として断水になることがあります。

本町では、上下水道における危機管理対応マニュアル

ルを策定し、災害発生時は断水を未然に防止するための緊急対応を定めています。また、平成24年に地元水道事業者と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結しており、広域連携では、平成28年に西天北5町による「天塩の国会議相互援助協力に関する協定」を締結し、令和4年には、日本水道協会と「災害時における道北地区管内の会員間の応援活動協定」を締結しています。

豊里浄水場では、近年の大雨による原水の濁り対策として、当面の間、ある程度までの原水の濁度を処理できる薬注・ポンプ設備への更新を予定しています。将来的には、道営事業等を活用して浄水場をより能力の高い処理方式に変更するなど機能強化を計画的に推進します。

給水設備等の支援については農業団体、また農家の意向などを調査し検討したいと考えています。

## 問 国の経済対策の活用と水道料金 見直しには、生活者の視点を



## 答 生活への影響も十分に考慮して 検討していく

菊地議員

近年、日本全体で物価高騰が続き、燃料費や食料品、電力料金など生活に直結する分野で町民の負担が増大しています。特に積雪寒冷地である中川町では、冬期間の灯油や電力料金の高騰が生活に深刻な影響を与えており、町民の生活を守るため、地域の実情に即した支援対策が急務となっています。

中川町では、これまで「在宅高齢者冬期生活支援事業」や「在宅高齢者除雪費助成事業」を継続的に実施し、高齢者、障がい者、ひとり親家庭等の低・中所得世帯への支援を行ってきました。これらの施策は町民生活を守るための独自の取り組みとして高く評価されるものです。

一方、令和7年11月21日



豊里浄水場

に閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策では、「第1の柱・生活の安全保障・物価高への対応」として、国の経済対策を通じて地域の実情に応じた物価高対策を講じることが示され、生活者・事業者支援の早期対策が求められています。そこで2点について伺います。



菊地広幸 議員

①国の経済対策を踏まえ、地域の実情に即した町民生活の支援対策をどのように検討するのか。

②令和7年度の検討を進める「水道料金の見直し」について、物価高騰が続く中で町民生活への影響を踏まえた検討を行う考えはあるのか。

石垣町長

国からは、米などの食料品の物価高騰による消費者負担の軽減のため、「おこめ券」の活用が強く推奨されていますが、本町においては、町民の皆さんの生活実態やニーズを踏まえつつ、効率的な支援策の検討を進めています。

水道料金の見直しについては、5年ごとに見直しを行っており、令和7年度中の見直し作業を進めています。

す。本来全て料金収入で賄うべきとした収益的支出のうち、営業費用（人件費、修繕費、減価償却費）と資本費用（支払利息、資産維持費）は、労務単価の上昇により維持管理費等が増加の傾向にあります。

一方で、給水人口が減り、料金収入は減少傾向にあり、収入と支出のバランスが悪くなっています。料金収入で不足する収入は一般会計からの多額の補助金、出資金で補てんしていることから、将来的な料金の値上げは避けて通れない状況にあります。

しかし、ご指摘のとおり、近年、日本全体で物価高騰が続き、燃料費や食料品、電気料金など生活に直結する分野で国民の負担が増加していることから、町民生活に対する影響も十分に考慮した検討を進めていくことが必要であろうと考えています。

菊地議員（再質問）

中川町に交付される重点支援地方交付金の額は。

石垣町長

約4000万円台になる見込みです。

菊地議員

全町民に対する交付は「なかかわ商品券」が妥当ではないか。

石垣町長

「なかかわ商品券」も効果的だと思います。検討を進め国の交付金が決定的に、速やかに対応します。

菊地議員

水道料金の見直しは具体的にどのように進めるのか。

石垣町長

中川町上下水道事業経営審議会に諮問し、その答申を受けて、年度内に見直し案をまとめます。



**問** 町長に就任してからの7年間の総括  
と今後の町政をどう進めるのか



**答** 協力隊と家族42人の移住を実現しました  
今後も安心して暮らせる町を目指します

**佐々木議員**

石垣町政が始まって7年が経過しました。これまでの町政運営をどのように総括しますか。

**石垣町長**

この7年間は、コロナ禍や物価高騰、人口減少の加速など、これまでにない厳しい環境の連続でした。その中で、町民の暮らしを守り、将来につながる持続可能なまちづくりを最優先に取り組んできました。課題は残りますが、一定の成果も見えてきています。

**佐々木議員**

人口減少対策について、これまでの取り組みと成果を教えてください。

**石垣町長**

令和元年度に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、移住・定

住対策を重点的に進めてきました。特に地域おこし協力隊の活用では、隊員とその家族42人の移住につながりました。令和5年度には社会増を達成し、「消滅可能性自治体」から脱却できたことは大きな成果です。

一方で、転出抑制や女性移住者の確保は今後の課題です。

**佐々木議員**

少子化対策では、どのような施策を行ってきましたか。

**石垣町長**

子育て支援は町政の重要課題として、保育料や放課後児童クラブ利用料の無償化、ミルク代支援、高校就学費補助の拡充などを実施してきました。出生数への直接的効果は限定的ですが、若い世代が「ここで暮らし



佐々木英和 議員

続けたい」と思える環境整備が、将来の人口減少の緩和につながると思っています。

**佐々木議員**

高齢化への対応や医療・介護体制はどのように進めていますか。

**石垣町長**

医療・介護関係者が連携する地域ケア会議を定期的に開催し、高齢者一人ひとりの課題に対応しています。人材確保は厳しい状況ですが、外国人介護人材の受け入れにも取り組んできました。医療については一次診療体制を維持し、安心して受診できる体制の継続に努めています。

**佐々木議員**

高齢者の移動手段についてはどうでしょうか。

**石垣町長**

町内循環型の住民バスを平日6便運行し、75歳以上の方には「おでかけハイヤー支援事業」を実施しています。JR宗谷本線についても、沿線自治体と連携し、存続と利用促進に取り組んでいます。

**佐々木議員**

財政運営とDX（デジタル技術の活用）の取り組みについて教えてください。

**石垣町長**

町債残高を約20億円削減するなど、健全な財政運営に努めてきました。公共施設については個別施設計画に基づき、統廃合や長寿命化を検討しています。DXでは町公式LINEを導入



中学生との意見交換

し、今後は申請手続きのオンライン化など利便性向上を進めます。

**佐々木議員**

住民参加と行政の透明性については。

**石垣町長**

第8次総合計画の策定では、町民ワークショップや中学生との意見交換など、これまで以上に多様な声を反映しました。今後も広報誌や説明会を通じ、開かれた町政を進めていきます。

**佐々木議員**

最後に、町長ご自身の評価と今後の決意をお願いします。

**石垣町長**

すべてが十分だったとは言えませんが、町民や職員と力を合わせ、一歩ずつ前進してきた7年間でした。残された課題に正面から向き合い、誰もが安心して暮らし続けられる中川町を目指して、これからも全力で取り組んでまいります。

問 機構改革の効果はどう評価した？



答 責任の明確化、意思決定の迅速化が図られた

今野議員

昨年も同様の質問を行ったが、令和6年4月から機構改革で地域振興課の新設、事務分掌の見直しがあった。現行の評価と、見直すべき点があるか含め次の点を伺う。

①機構改革実施後の効率化、サービス向上についての評価は。

②令和6年度決算審査で時間外勤務の状況を質問し数字を確認した。業務量のバランスがいびつになっていると思うが、改善のため事務分掌の見直しは。

③昨年の答弁で若手職員のモチベーション、スキルアップを図りたいとの答弁だったが、実施状況は。

石垣町長

1点目、機構改革により、

地域づくり業務の一元化で庁内調整や情報共有が円滑化し、係制移行により責任体制の明確化と意思決定の迅速化が図られた。町公式LINEの運用開始などDX（デジタル技術の活用）も進展し、農林課ではフマ対策をはじめ住民通報への初動対応が迅速化している。今後も検証を重ね、住民サービスの向上に努める。

2点目、令和6年度の時間外勤務実績から、所属間で業務量に差があることは認識しており、業務内容の違いや専門業務の集中、突発案件への対応、職員退職などが要因と考えている。今後は職員確保に努めるとともに、業務実態を分析し、事務分掌の見直しや人員配置、応援体制の改善など必要な対策を講じていく。

3点目、若手職員の意見



今野大樹 議員

を組織運営に生かすため、自主的な意見交換の場を設け、研修企画や業務改善の提案を進めている。奥道北中川町構想構築事業では、各課職員が参加するワークショップを実施し、組織横断的な議論や人材育成につながっている。今後も研修や人事制度を活用し、働きがいのある職場づくりを進めていく。



奥道北構想に関する職員のワークショップ

今野議員（再質問）

機構改革によって、窓口業務のワンストップ化を進めるのだと理解していたが、現状はそうならないが、

石垣町長

福祉部門が別棟であり、自分としても戸籍窓口で職員が対応することを想定していた。今年度庁舎内はノートパソコンの整備・配置をできるので今後は可能な範囲で住民を歩かせることのない窓口体系を構築したい。

今野議員

職員確保に言及しているが、来年度採用の職員は何人か。

浅田副町長

来年度の採用については5名に内定を出している。

今野議員

中川町は職員採用に当たって町外出身者が多く、住宅を用意する必要がある、既存の職員住宅だけだと、

今後対応できなくなると思われるが。

遠藤総務課長

内定を出している方の住宅は確保しているが、今後は特公賃であるとか、民間賃貸住宅などで確保に努めていきたい。

今野議員

特公賃、民間住宅にはほぼ空きがない状況にあるはずで、一方で移住対策として職員住宅を改修する政策も実施している。今の答弁を聞くと課同士、課長同士の情報共有が不十分なのでは。

浅田副町長

情報共有に関しては、政策によって複数の所管課で共有連携して進めなければならぬものもあり、そこは特別職も把握して対応している。縦の系列だけでなく関連性を理解し課題の共有をしながら進めていることはご理解いただきたい。



## 議会改革とハラスメント対策を学ぶ

上川管内町村議会議員研修会が11月6日、旭川市公会堂で開催され、町議会からは議員8名が参加し、議会改革の課題やハラスメントの予防法などについて学びました。



研修会に参加する議員

研修会には、道北各地の市町村議会議員が参加して、全国各地で講演を行う二人の講師から講演を聴きました。

した。

「議会改革は定数や経費を削減するのが目標ではない。住民福祉を増進させるため、行政監視機能や政策立案機能を強化することが目的。わずかな議会費を削るよりも、議会の監視機能を発揮し、執行機関の歳出に切り込んで財政状況を改善する方が効果的。」「町村議員のなり手不足の背景には、報酬が低く、プライベートも確保できず、魅力が乏しいことが挙げられる。議員になりたいと思われるよう改革を進められたい。」と議会の課題と方向性を指し示しました。

テレビ番組のコメンテーターとしても活躍している三輪記子弁護士は「最新裁判例から見るハラスメント



研修会場のようす

の傾向と対策」その原因と予防法」をテーマに、ハラスメントが発生した場合の対応や予防策などを、わかりやすく解説されました。

「お互いのレスペクトがあれば、パワハラは生じないもの。ハラスメントが起きたら、事実を大事にし、秘密を守ること。組織のルールを定め、個人でも準備をしっかりと行うことが大事。」「各自がハラスメントの予防策を実践することが世の中を変えることに繋がる」などを話されました。

参加した議員は「研修会で学んだ事項を、今後の議会活動に活用したい」と話しています。

## 農業者との懇談会で、情報交換や農業振興策を話し合いました

町議会では多くの住民からお話を伺い、議会活動に活かして行こうと、各団体との懇談会を順次開催しています。11月27日には、農業者・JA職員の12名と経済常任委員会の3名が、JA北はるか中川支所で開催した。

懇談会では畑の排水対策、シカやヒグマの駆除、道路へのごみのポイ捨て、災害時の家畜への給水対策など、農業に関する話題を中心に情報交換や前向きな議論が行われました。

中でもシカやヒグマの農業被害については、「ヒグマの出没には家族も不安を感じている」「シカの被害も減少しておらず、駆除頭数を増やせないか」「ヒグマの緊急銃猟は町内でも可能なのか」など、不安の声が多く出されています。



農業者との懇談会のようす

議員からは町と地元猟友会との協力体制や、西天北五町衛生施設組合の動物焼却炉の増強、緊急銃猟の訓練などの取り組みを説明し、今後被害が減少するよう町に働きかけたいと話しています。

今後も、町内の各団体との懇談会を積み重ね、より良いまちづくりに向けて議会活動を進めていきます。

# 「温泉」と「特養一心苑」の改築を町と協議しています

## ～中川町議会公共施設建設調査特別委員会の開催状況～

### 第5回 11月25日 特養はグループホームの建物に増築して全室を個室化、デイサービスや社協本部も一体化する高齢者複合型施設に

#### 【町からの報告・説明】

- ・議会からの意見を基に診療所への併設を更に検討した。診療所と接続させるには鉄筋コンクリート造にする必要、土地が不足するための用地買収、寿の家の解体工事など、休止中のグループホームに木造平屋造で増築する場合に比べ、概算で9億3500万円ほど建設に係る費用が増加する。補助金や交付税措置などを差し引いても、町の負担は3億1千万もの増加となる。

グループホームに木造平屋建てで増築する場合 (特養・デイサービス・ヘルパー・社協本部ほかを集約)	建設費用 約11億5300万円
診療所に鉄筋コンクリート造平屋建てで併設する場合 (特養・デイサービス・ヘルパー・社協本部ほかを集約)	建設費用 約20億8800万円 (用地買収、寿の家の解体含む)

- ・当初は利用者負担が増えないようにと2人部屋を中心に検討していたが、議会の個室化が望ましいとの意見から再検討し、全室を個室化（1人部屋29室）するよう見直した。ユニット型は職員数を多く抱えることが必要なため、従来型個室として計画する。
- ・診療所に併設することが望ましいのは理解しているが、建設コストが大きくなり、借金の返済見通しも厳しくなる。診療所は建設から20年近く経過しており、将来的には診療所を特養に移転併設することも考えられる。
- ・特養単独の施設ではなく、デイサービス、ヘルパー、社協本部などを集約した高齢者複合型施設として建設したいと考える。人員や車両などを効率的に運用し、社協で手掛ける事業全体の運営コストの低下を目指す。グループホームの建物は、特養の個室の一部として活用する。

#### 【議員からの質疑・意見】

- ・診療所に併設が望ましいと思うが、建設コストや借金の返済を考慮すると難しいだろう。
- ・現在の特養は老朽化し、建て替えは先送りできない。
- ・高齢者複合型施設をグループホームの建物に増築する案で議会として了解した。
- ・高齢者複合型施設の新築について、住民説明会の開催を実施されたい。
- ・人員配置や運営コストの資料を早めに提示願う。

### 第6回 12月3日 高齢者複合型施設の建設スケジュールを町が説明、令和10年度にオープン の予定

#### 【町からの報告・説明】

- ・特養やデイサービス、社協本部などを一体的に整備する「高齢者複合型施設」の建設に向け、基本・実施設計の設計業者の選定を、町がプロポーザル方式で進める。
- ・令和8年3月までに設計業者の選定を行い、4月から施設の基本・実施設計に着手する。その後、配置、平面プラン等が出来上がった後に住民説明会やパブリックコメントの手続きを行う。



- ・設計業者の選定に当たっては、3つのテーマ①住み慣れた地域で自分らしく暮らせる施設、②安心安全な施設、③機能性と経済性に配慮した施設に基づき選定を進める。
- ・令和8年度に設計が完了、令和9年度に建設工事、令和10年度のオープンを予定している。

#### 【議員からの質疑・意見】

- ・降雪量の多い地域であり、設計段階から雪の対策は徹底されたい。

### 第7回 12月11日

#### 温泉宿泊施設の町民説明会の実施に向けて、町が資料内容を説明

#### 【町からの報告・説明】

- ・12月21日と23日に町民説明会を行う。整備方針、施設の特徴、計画の全体像、施設の機能などを平面図やパースなどを使い、わかりやすく説明する。
- ・質疑応答も行い、パブリックコメントで寄せられた意見とあわせて、設計に反映できるところはしていきたい。
- ・太陽光発電や高断熱・高効率設備による省エネルギー施設とする予定で、光熱費は下がる見込み。
- ・パブリックコメントの募集期間は12月22日から1月31日まで。町ホームページから資料一式を見ることが出来る。
- ・令和8年度に実施設計が完了し、令和9～10年度に建設工事、令和11年度にプレオープン、既存施設の解体や跡地整備を行い令和13年度にグランドオープンの予定。

#### 【議員からの質疑・意見】

- ・児童生徒への弁当の配食を新施設で行えないか検討されたい。
- ・施設の運営や経営計画についても議論が必要。早期に提出されたい。
- ・町民説明会の実施結果についても報告をお願いする。



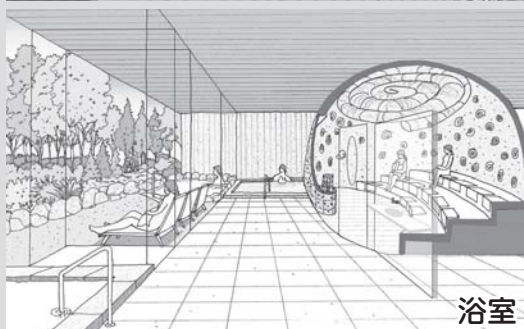
外観イメージ

#### 温泉宿泊施設基本設計案

##### 施設イメージ



ロビー



浴室



森のサロン

# 議会 目 誌

11月

12日 町村議会議長全国大会

【東京都】

13日 上川北部消防事務組合

救急症例研究会

【名寄市】

23日 地域おこし協力隊活動

大報告会

12月

3日 第16回全員協議会

第6回公共施設建設調

査特別委員会

第7回議会運営委員会

上川北部消防事務組合

議会定例会【名寄市】

11日 第17回全員協議会

第4回定例会（一般質

問）

第7回公共施設建設調

査特別委員会

第4回広報特別委員会

第4回定例会（議案審

議）

第5回議会改革特別委

員会

1月

4日 二十歳の集い

7日 中川消防出初式

14日 商工会新年交礼会

25日 第5回公共施設建設調

査特別委員会

27日 農業者と経済常任委員

会との懇談会



地域おこし協力隊活動大報告会のようす



中川町二十歳のつどい（お祝いにいただいたコーヒー豆缶を手に）

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃より議会活動にご意見ご感想をいただき、また「議会だより」をいつもご覧いただきまして誠にありがとうございます。

今、本町ではポンピラアクアリズイングと、一心苑の新築建て替え計画が大きな話題の一つに上がっております。町民の皆様と、行政と、議会で議論を深めて町の未来について対話を深めていけるように努めてまいります。

また、議会改革についても議論を深めているところで、町民の皆様にも関心を高めて頂けるように、情報発信をしていきます。

町民の皆様に、地方政治、議会への関心を益々高めて頂けるよう努めてまいりますので、議会だよりをどうぞ読んでくださいますようお願いいたします。

（真）

### 議会広報特別委員会

委員長 佐々木英和  
委員 若山 真一



この広報紙は  
道産間伐材を  
使用しています。

〒098-2892 北海道中川郡中川町字中川337番地 議会事務局  
メールアドレス:nakagawa-gikai@town.nakagawa.hokkaido.jp  
電話番号:01656-7-2944 ファクシミリ番号:01656-7-2830